

2026年度 金沢美術工芸大学大学院
美術工芸研究科 研究生(10月入学) 学生募集要項

研究生制度とは、本学において研究を深めるため教授指導を受けることができる制度です。
なお、研究生は、非正規生となるため、学位の取得及び単位の修得はできません。

1. 募集人員

若干名

2. 募集する専攻、コース・研究分野

| 専攻 | コース・研究分野 |
|------|--------------------------|
| 絵画 | 日本画、油画、映像 |
| 彫刻 | 彫刻、環境彫刻 |
| 芸術学 | 視覚文化研究、現代美術研究 |
| 工芸 | 陶磁、漆・木工、金工（鋳金、彫・鍛金）、染織 |
| デザイン | ホリスティックデザイン、インダストリアルデザイン |

3. 出願資格

- (1) 学士の学位を有する者及び入学時期までに授与される見込みの者
- (2) 本学において、前号に準ずる学力があると認められた者

※ 出願資格(2)により出願を希望する者は、個別に出願資格の審査を行うので、2026年4月13日(月)までに本学事務局へ必ず照会し、必要書類を2026年4月17日(金)までに本学事務局に提出してください。

4. 研究期間

| | |
|------|--------------------------|
| 半 期 | 2026年10月1日から2027年3月31日まで |
| 1 年間 | 2026年10月1日から2027年9月30日まで |

5. 出願期間・出願方法等

出願方法は、インターネットを利用したWeb出願のみとなります。
詳細は本要項6～9ページの「インターネット出願の流れ」を参照してください。

(1) 事前準備

| | |
|----------------|---|
| パソコン等の 利用環境 | <ul style="list-style-type: none">・PCでのインターネット出願では次のWebブラウザを使用してください。 Microsoft Edge 最新版 Google Chrome 最新版 Mozilla Firefox 最新版 Apple Safari 最新版※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がありますので、複数タブでの同時申込操作は控えてください。・スマートフォン、タブレットでのインターネット出願では次のOSを使用してください。 iOS 12 以上 Android OS 8 以上 iPad OS 13 以上※各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。 |
|----------------|---|

| | |
|--------------------|---|
| PDF表示・印刷 ソフトウェア | ・志願票・受験票(PDF)の表示・印刷にはアドビシステムズ社が提供しているAdobe Acrobat Reader（無償）が必要です。 |
| メールアドレス | ・出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。 ・ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのEメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp |
| 顔写真データ | ・出願前3か月以内に撮影した正面、無帽、上半身、背景なし、カラーの顔写真データを用意してください。 ・不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できません。 |
| 封筒 | ・必要書類を提出するため、市販の角形2号封筒等(A4用紙が折らずに入る大きさ)を用意してください。 |
| 用紙 | ・志願票や受験票を印刷するため、A4サイズ白色の用紙を用意してください。 |

(2) 出願方法

志願者は、出願期間内に本学ホームページから「金沢美術工芸大学インターネット出願サイト」にアクセスし、必要事項を登録後、「(5) 必要書類」を提出期限内に本学事務局に送付又は持参してください。到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続完了となります。

- ※ 送付する場合は、書留速達郵便やEMS(国際スピード郵便)等の配達記録が確認できる方法により提出してください。
- ※ 送付された必要書類について、本学への到着(配達)有無確認の問い合わせには応じません。
- ※ 海外から送付する場合は、5月22日(金)までに到着予定日をEメールで本学事務局に連絡してください。
メールアドレス admin(at)kanazawa-bidai.ac.jp (at)は@に置き換えてください。
- ※ 持参する場合の受付時間は、平日のみ9:00~16:00

(3) 出願期間

| | |
|---------------|-------------------------------------|
| インターネット出願登録期間 | 2026年5月11日(月) 9:00 ~ 5月22日(金) 17:00 |
| 入学考査料支払期間 | 2026年5月11日(月) 9:00 ~ 5月22日(金) 17:00 |
| 必要書類提出期限 | 2026年5月22日(金) 17:00 (必着) |

(4) 必要書類提出先(送付又は持参)

〒920-8656 石川県金沢市小立野2丁目40番1号
金沢美術工芸大学事務局 電話 076-262-3531

- ※ 出願登録完了後、インターネット出願サイトから「宛名シート」をダウンロードできます。

(5) 必要書類

ア. インターネット出願サイトからダウンロードして大学に提出するもの

| 書 類 | 作 成 方 法 |
|---------|--|
| ① 志願票 | <ul style="list-style-type: none">・出願登録完了後に印刷(A4判、カラー)してください。・印刷後、登録内容に誤りがあった場合は大学事務局まで連絡してください。・入学審査料の支払完了後、登録内容の修正はできません。 |
| ② 宛名シート | <ul style="list-style-type: none">・出願登録完了後に印刷(A4判、カラー)してください。・印刷後、各自が準備する封筒に貼付してください。・EMS(国際スピード郵便)や国際宅配便等を利用する場合は、「宛名シート」を使用する必要はありません。 |

イ. 上記アに加え、各自が準備して大学に提出するもの

○ 志願者全員が提出するもの

| 書 類 | 作 成 方 法 |
|-----------------------------------|---|
| ③ 研究テーマとその概要 | <ul style="list-style-type: none">・募集要項14ページにある本学所定の様式を印刷のうえ、必要事項を記入して提出してください。なお、手書き又はデータ入力いずれも可能です。・様式は、本学ホームページからも印刷可能です。 |
| ④ 「最終学校の卒業(修了)証明書」又は「卒業(修了)見込証明書」 | <ul style="list-style-type: none">・出身大学長(学部長)が証明したもの(原本)を提出してください。・本学卒業(修了)者は提出不要です。・大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位授与証明書の写し、授与見込みの者については大学改革支援・学位授与機構による授与申請を受理した証明書(学位授与申請受理証明書)を提出してください。・外国の大学を卒業(修了)した場合は、卒業(修了)証明書に加え、学士(修士)の学位授与証明書を提出してください。・日本語の証明書でない場合は、日本語訳を添付してください。・最終学歴が中華人民共和国の教育機関の方は、CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行した有効期限内の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」及び「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」の提出を認めます。この場合、日本語訳は不要です。 |
| ⑤ 最終学校の成績証明書 | <ul style="list-style-type: none">・出身大学長(学部長)が証明したもの(原本)を提出してください。・本学卒業(修了)者は提出不要です。・日本語の証明書でない場合は、日本語訳を添付してください。 |
| ⑥ 研究内容が分かる資料(制作作品の写真、研究論文の写し等) | <ul style="list-style-type: none">・A4判ファイル1冊にまとめ、表紙に氏名を明記してください。・作品に映像が含まれる場合は、全てを10分以内にまとめ、NTSC方式でDVDに収めて、または、MP4形式の映像ファイルをUSBメモリに収めて添付してください。・実作品は提出しないでください。 |

○ 外国人留学生在が提出するもの

| 書 類 | | 作 成 方 法 |
|-----|--|--|
| ⑦ | 旅券(パスポート)のコピー | ・顔写真、氏名が記載されているページのコピーを提出してください。 |
| ⑧ | 在留カードのコピー(両面)又は住民票の写し | ・外国人留学生在で、現に日本国内に居住している場合は提出してください。 |
| ⑨ | 日本語能力試験(JLPT) N 2相当以上の日本語能力を有していることを証明する資料 | 次のいずれかの試験の成績証明書等 a. 日本語能力試験(JLPT) N 2(2級)以上(日本国際教育支援協会及び国際交流基金主催)の「認定結果及び成績に関する証明書」(原本) ※「日本語能力認定書」や「合否結果通知書」ではありませんので、提出する書類を間違えないように注意してください。 ※証明書の発行には時間がかかる場合がありますので、余裕を持って申請してください。 b. 日本留学試験(EJU)(日本語(読解、聴解、聴読解の合計))200点以上(日本学生支援機構主催)の成績確認書を印刷したもの(前年度又は今年度実施分に限ります。) ※日本留学試験(EJU)を受験し、出願時点で成績が出ていない場合は「受験票」の写しを提出してください。日本留学試験の結果は、本学が日本学生支援機構から直接入手します。なお、成績が基準に達していない場合は出願を取り下げさせていただきます。 |

○ その他

- ・入学後も、官公署、学校その他会社等に在職する者は、所属長の受験許可書(様式任意A4判)を提出してください。

ウ. インターネット出願サイトからダウンロードして面接当日参するもの(書類審査通過者のみ)

| 書 類 | | 作 成 方 法 |
|-----|-----|---|
| ⑩ | 受験票 | <ul style="list-style-type: none"> ・出願手続きを行った者のうち、受験資格審査のうえ本学大学院が受験資格を有すると認定した者には、2026年5月29日(金)までに出願時に登録したメールアドレスへEメールで通知します。通知が到着後、インターネット出願サイトから「受験票」をダウンロードのうえ、各自が印刷(A4判、カラー)してください。 ・書類審査通過者は、面接当日に受験票を持参してください。 ・受験票のダウンロードに関するEメールが届かない場合は、大学事務局まで連絡してください。 ・受験票は、入学手続の際に必要なため、試験終了後も大切に保管してください。 |

(6) 入学考査料

入学考査料の支払いは、インターネット出願サイトにおける出願内容の登録後に行います。
8 ページに記載するいずれかの手順で支払手続に進んでください。

| 入学考査料 | 支 払 期 間 |
|--------|--|
| 9,800円 | 2026年5月11日(月) 9:00 ~ 5月22日(金) 17:00 ※上記期間中、インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23:59まで(ただし、出願登録完了日が支払期限締切日まで4日未満の場合は上記支払期限締切日時が優先) |

- ※ 支払期間中に支払いが完了しない場合、出願登録は自動的にキャンセルとなります。
- ※ 入学考査料の他に、支払手数料等が発生します。
- ※ 一旦納入された入学考査料は返還しません。

(7) 出願に当たっての注意事項

- ① 出願受付後は、いかなる理由があっても、提出された書類等の返却及び記載事項の変更はできません。
- ② 提出された必要書類に不備がある場合、受験する資格のない者として取り扱いますので、十分確認したうえで出願してください。

(8) 障がいをもつ入学志願者との事前相談

障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）をもつ入学志願者で、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に事務局に相談し、出願前に事前相談申請書等を提出してください。なお、事前相談は、次のとおりとします。

① 相談の時期

学生募集要項発表後から2026年4月13日（月）まで
9時から16時まで（土・日曜、祝日を除く。）

② 相談の方法

事前相談申請書（本学所定の様式に健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、志願者又はその立場を代弁しうる者等との面接等を本学において行います。

③ 相談先

金沢美術工芸大学 事務局 電話 076-262-3531

6. 選考方法

- ・書類審査を行った後、書類審査通過者に対して面接を行います。なお、面接は本学内で
行います。
- ・面接の日時は、別途Eメール等で通知します(面接は、2026年6月中旬～下旬頃に行う
予定)。

7. 選考結果

| 選考 | 発表日時 | 発表場所等 | 備考 |
|------|------------------------|----------|--|
| 書類審査 | 2026年6月5日(金) 10:00 | 本学ホームページ | 書類審査通過者のみ面接 を受けることができます。 |
| 面接 | 2026年7月10日(金) 10:00 | 本学ホームページ | 合格者には、合格通知書及 び入学手続に関する通知 を郵送します。 |

※ URL <https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>

※ 電話、Eメールなどによる合否の問い合わせには一切応じません。

8. 入学手続

2026年7月13日(月)～7月27日(月)

平日のみ9:00～16:00

※ 入学手続場所 本学事務局(遠方の居住者は、郵送による手続を認めます。)

※ 期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

※ 外国人の場合は、日本国に居住する保証人の身元保証書を提出してください。

9. 入学金・授業料

(1) 入学金 42,300円(金沢市内居住者及び本学卒業者)

84,600円(上記以外の者)

(2) 授業料 半期のみ 178,200円

1年間 356,400円(半期ごとに分割し、4月及び10月の末日までに納入)

※ 入学金等は、改定される場合があります。

※ 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用されます。

※ 一旦納入された入学金等は返還しません。

※ 上記経費以外に、専攻によっては教材費として別途費用を要することがあります。

その際の納入方法等については、入学後、指導教員の指示に従ってください。

※ 金沢市内居住者とは、次のいずれかに該当する者です。

①入学の日の1年以前から引き続き金沢市内に住所を有する者

②入学の日の1年以前から引き続き金沢市内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者

10. その他

- ・学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナ、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患している者は受験できません。ただし、症状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。
- ・研究生には、学生旅客運賃割引制度(学割)は適用されません。
- ・この研究生募集により本学が取得した個人情報、入学者選抜及び合格者の入学手続きに関わる業務以外には一切利用しません。
- ・2027年4月入学の募集要項は、2026年8月上旬に本学ホームページで公表する予定です。

11. 研究生募集に関する問い合わせ先

〒920-8656 石川県金沢市小立野2丁目40番1号

金沢美術工芸大学 事務局 研究生募集担当

電話 076-262-3531 (平日のみ9:00~17:00)

メールアドレス admin(at)kanazawa-bidai.ac.jp ※ (at) は@に置き換えてください。

指 導 教 員

(2026年4月現在)

| 専攻 | コース 研究分野 | 担当教員 | 主な研究内容 |
|-------------|-------------|----------------|---|
| 絵 画 | 日 本 画 | 佐藤 俊介 教授 | 「徹底した写生」「日本画と情報機器の発展的関係」を軸にした、時代に対する強度及び普遍性を有す日本画制作研究 |
| | | 荒木 恵信 教授 | 自身の主題にそった日本画制作研究、文化財の保存修復に関する研究、絵画材料や技術・図様など絵画表現の分析及び模写研究 |
| | | 石崎 誠和 教授 | 実感を基盤とした日本画の制作研究と文化の混淆による新たな絵画制作原理の研究 |
| | | 松永 敏 准教授 | 日本画の制作過程の有効性、及び自己の展開を持続する日本画制作の研究 |
| | | 北川由希恵 講師 | 対象の実相をうつしとる日本画制作研究、主に植物の表現について及び技法・素材の研究 |
| | 油 画 | 三浦 賢治 教授 | 油彩画技法による絵画表現及び古典絵画技法・材料の研究 |
| | | 大森 啓 教授 | 現代における絵画表現及び技法・材料の研究 |
| | | 高橋 治希 教授 | 東洋古典園林の空間構造を援用した、インスタレーションおよび絵画の研究 |
| | | 鈴木 浩之 教授(兼) | 絵画及び映像作品制作に関する研究 |
| | | 岩崎 純 教授 | ミクストメディアによる絵画表現及び壁画制作に関する技法・材料の研究 |
| | | 武田 雄介 准教授 | 絵画及びインスタレーションの研究 |
| | 映 像 | 鈴木 浩之 教授 | 絵画及び映像作品制作に関する研究 |
| | | 武田 雄介 准教授(兼) | 絵画及びインスタレーションの研究 |
| | | 早見紗也佳 講師 | 映像表現及び上映技術の研究 |
| | 彫 刻 | 彫 刻 環 境 彫 刻 | 土井 宏二 教授 |
| 浜田 周 教授 | | | 金属彫刻作品制作における金属加工技法、並びに金属素材の複合表現の研究 |
| 芝山 昌也 教授 | | | 石をはじめとした多様な素材による彫刻制作と近現代日本彫刻史の研究 |
| 伊藤 幸久 准教授 | | | デジタルメディアを含む多様な素材を用いた具象彫刻及びインスタレーションの研究 |
| 七搦 綾乃 講師 | | | 木を主な素材とした彫刻表現、及び技法・材料の研究 |
| 芸 術 学 | 視覚文化研究 | 山崎 剛 教授 | 日本の美術、特に工芸の歴史と文化、及び技法の継承に関する研究 |
| | | 金島 隆弘 准教授(兼) | 東アジアの近現代美術や工芸を含む文化的エコシステムにおける協働、キュレーション等の実践、アートプラクティスの研究 |
| | | 村松 綾 准教授 | ヨーロッパの美術、及び歴史と文化、特に前近代の金属工芸技法と職人の社会的役割に関する研究 |
| | | 折居 耕拓 講師 | 西洋近現代の美学・美術史・美術批評、フォーマリズムの概念を基軸とする現代美学の研究 |
| | 現代美術研究 | よしだぎょうこ 教授 | インスタレーション、パフォーマンス、写真、立体、平面、映像など多形式を取り扱う、横断的現代美術制作とその論考、展示表現 |
| | | 金島 隆弘 准教授 | 東アジアの近現代美術や工芸を含む文化的エコシステムにおける協働、キュレーション等の実践、アートプラクティスの研究 |

| 専攻 | コース 研究分野 | 担当教員 | 主な研究内容 | |
|-------------------|------------------|-----------------|--|---|
| 工 芸 | 陶 磁 | 山本 健史※ 教授 | 陶磁の表現及び理論の研究、ろくろ・型成形を応用した表現及び空間研究、有機物を利用した土のマチエール研究、釉着と釉彩の研究 | |
| | | 池田 晶一 教授 | 陶磁の表現及び理論の研究、陶磁におけるデジタル技術の活用、石膏型による鋳込み制作技術等の研究、公共空間の芸術表現研究 | |
| | | 宮永 春香 准教授 | 陶磁の表現及び理論の研究、陶磁における美術表現及び空間表現の研究、粉体成形を主とした窯業技術転用研究、陶磁釉薬の研究 | |
| | 漆・木工 | 吉野 貴将 教授 | 漆の乾漆技法及び加飾技法（蒔絵、螺鈿、変わり塗りなど）を用いた、乾漆偶像表現の研究 | |
| | | 青木 千絵 准教授 | 漆造形表現及び理論の研究、特に乾漆技法を用いた人体表現の可能性について | |
| | | 金保 洋 講師 | 漆造形表現及び理論の研究、漆芸技法全般並びに漆における色彩表現の研究、現代における工芸理論の研究 | |
| | 金 工 | 原 智 教授 | 鍛金造形表現及び理論の研究、金属加工技術並びに金属着色技術全般の研究、伝統的表現技法と現代の工芸に対する研究 | |
| | | 水代 達史 准教授 | 彫金造形表現及び理論の研究、金属造形並びに加飾技法全般の研究、現代美術における金属工芸表現の研究 | |
| | | 上田 剛 准教授 | 鋳金造形表現及び理論の研究、鋳造法全般並びに金属着色技法の研究、鋳金表現の可能性についての実践 | |
| | 染 織 | 大高 亨 教授 | 染織の表現及び理論の研究、織の組織及び紋織技法の制作研究、テキスタイルデザイン及びデジタルテキスタイルの制作研究 | |
| | | 足立 真実 教授 | 染織の表現及び理論の研究、各種織物技法の制作研究、天然染料による染色の研究 | |
| | | 加賀城 健 教授 | 染織の表現と理論の研究、各種染色技法による制作研究、染色における美術表現及び空間表現の研究 | |
| | デ ザ イ ン | ホリスティック デザイン | 寺井 剛敏※ 教授 | ブランディング、ソーシャルデザイン領域及びカラーユニバーサルデザインに関する研究 |
| | | | 鏝 隆弘※ 教授 | 自然環境保全、都市景観のデザイン、屋外公共空間のデザイン、庭園デザイン、庭園の調査に関わる研究 |
| | | | 鈴木 康雄 教授 | 写真・映像領域及び多様な素材による表現に関する研究 |
| 畝野 裕司 教授 | | | パッケージデザインと商業空間に関する研究 | |
| 北村 賢哉 教授 | | | くらし空間領域のプロダクトデザイン研究・連携と横断によるデザイン教育の研究 | |
| 坂野 徹 教授 | | | 印刷、組版、インフォグラフィックス、ゲーム、物語、経済、公共哲学などを起点としたデザインと情報編集の研究 | |
| 清水啓太郎 准教授 | | | 空間・ブランディング領域及びデジタルを含む体験空間領域に関する研究 | |
| 西本 耕喜 准教授 | | | 建築と都市のデザインに関する研究 | |
| 高田 大資 准教授 | | | アートディレクション、グラフィックデザイン、UI/UX 領域に関する研究 | |
| 樺島 脩 准教授 | | | エンターテインメント分野の商品企画、事業企画に関する研究 | |
| インターストリアル デザイン | | 河崎 圭吾 教授 | 家電製品のデザイン研究 | |
| | | 安島 論 教授 | 社会課題とデザインの関係、イノベーションメソッドに関する研究 | |
| | | 入矢 真一 教授 | UI・UX デザインの研究 | |
| | | 根来 貴成 教授 | インテリア・オフィス・コントラクトにおける家具デザインの研究 | |
| | | 矢島 幹生 准教授 | モビリティに関するデザイン研究 | |

| | | | | |
|---------------|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 一般教育等 理論指導 | 高橋 明彦 教授 渋谷 拓 教授 | 桑村佐和子 教授 稲垣 健志 教授 | 大谷 正幸 教授 吉田 明代 教授 | 荷方 邦夫 教授 桐谷 慧 講師 |
|---------------|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|

※山本 健史 教授(2027年3月退職予定)

※鏝 隆弘 教授(2027年3月退職予定)

※寺井 剛敏 教授(2027年3月退職予定)

研究テーマとその概要

| | | |
|------|----|-------------|
| ふりがな | | 受験番号 |
| 氏名 | | ※ |
| 志望専攻 | 専攻 | コース 研究分野 |
| | | |

(注) ※の箇所は記入しないこと。

金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科 研究生